

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	健康づくり広報事業				開始年度	平成2年	
基本目標	予防医療体制の整備				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	健康推進係	記入者	本部比呂絵	評価者	井上敏郎
21年度決算	81	千円	22年度予算	81	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	146 千円		22年度人件費	145 千円		事業従事者数	0.02 人 0.02 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町民一人一人が健康づくりを行うための支援として健康に関する情報提供を行う。
事業の内容	大人向けには健診(検診)日程表を、子供向けは健診日程表・子育て支援内容を掲載。また紙媒体だけでなく、町ホームページにも掲載し幅広く情報を提供する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 受診者への配慮	健診(検診)のある日を前もって知らせることで、受診者が日程調整をしやすくし、受診しやすくする。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1	年度末には情報を提供できるよう、早めに(年末には)健診(検診)委託先と日程調整をす
	2	
	3	

◎達成状況

指標名	単位	20年度	21年度	22年度
		達成率 %	#DIV/0!	#DIV/0!
成果指標	0	目標値		
		実績値		
		達成率 %	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	0	目標値		
		実績値		
		達成率 %	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	0	目標値		
		実績値		
		達成率 %	#DIV/0!	#DIV/0!

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	当課で行うのが妥当である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	子どもの健診に関しては、対象者に事前に個別通知をしているので、広報誌があったから受診率が良かったとは評価しにくいですが、保護者の日程調整には役立っていると考えられる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	業者委託で作成した健康カレンダー(カレンダーと健康情報を掲載)全戸配布から、印刷のみ業者委託し作成した健康ニュース(A4 7ページの冊子)全戸配布、そして20年度より担当者手作りの広報誌「大人向けA3 1枚」「子供向けA3 1枚」とし、経費削減を図ってきた。今年度は配布方法も「子供向け」は直接健診等で配布し、大人向けのみ年度当初に全戸配布している。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか (ボランティア・NPO等)	なし

事務事業名	健康づくり広報事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	健康づくりに関する広報は、年度始めに検診等を一覧表にして全戸配布を行うほか、ホームページにも掲載し周知に努めているが、さらに町民が健康づくりに関心をもつような広報のあり方を研究する必要がある。	今後の方向性				
			拡充			○	
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎健康づくりの意識高揚のために広報は必要であるため、工夫した広報活動を考えること。 ◎健康づくりは行政が主導するのではなく、町民1人1人が自覚し、健康に努めていくような方向に調整していただきたい。
	コスト	現状維持	